

## 企画集会

### 「フェストロリウム新品種「なつひかり」を用いた九州地域における牧草栽培の温暖化対策：草地メンテナンスと周年利用栽培」

日時：3月19日（水）13：00-15：30

場所：A会場（東館2F 日向）

企画者：農研機構東北研 東山雅一

＜開催趣旨＞ 近年は温暖化が進み、夏季の高温障害や病害等による夏枯れなどにより荒廃が進展し、最新の優良品種を導入した草地更新による生産性向上が喫緊の課題となっている。私たちは、イノベ事業「越夏性に優れるライグラス新品種を用いた省力的な草地の高位安定生産技術の開発」で、高栄養多収であり、耐湿性、初期生長に優れるライグラスの品種開発とそれらを用いた草地管理技術の開発に取り組んでいる。具体的には越夏性の強い多年生ライグラス類の新品種フェストロリウム「なつひかり」を開発し、それらを追播して簡易更新を行う「草地メンテナンス」技術と暖地においても年1回播種し冬作だけで梅雨明け後まで栽培する「周年利用栽培体系」技術の開発を行っている。今回は、特に温暖化最前線の九州における「なつひかり」の利用方法と実証について講演し、皆様と意見交換を行い、残りの2年間の研究と実証に活かす場としたい。

#### ＜プログラム＞

1. イタリアンライグラス型フェストロリウム「なつひかり」の育成  
清 多佳子 （農研機構畜産研）
2. 九州低標高地における「なつひかり」の周年利用栽培  
荒川 明 （農研機構九沖研）
3. 九州高標高地における採草地の草地メンテナンス技術  
石井 怜 （大分県畜産研究部）
4. 九州の放牧酪農におけるライグラスの活用  
増田 靖 （らくのうマザーズ）、池田堅太郎 （農研機構九沖研）
5. 放牧酪農への「なつひかり」導入の効果  
岡崎博則 （霧島牧場）、増田靖 （らくのうマザーズ）、池田堅太郎 （農研機構九沖研）

本研究は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」（JPJ007097）の支援を受けた。